

子どもセンター開所

切れ目のない支援を

新年度4月1日に、奈良市柏木町の柏木公園内に複合施設の「子どもセンター」Ⅱ写真Ⅱが開所しました。県内初となる、児童虐待から子どもを保護する児童相談所を設置、約10年間で5倍に増加している児童虐待の相談に対応していきます。一時保護(概ね0〜3歳児の子どもとその保護者)は12人まで対応し、一人ひとりに居室を用意しています。中核市が設置した児童相談所は横須賀、金沢、明石に続いて全国で4例目になります。複合施設となっており、子育ての相談窓口「地域子育て支援センター」や未就学児の発達相談ができる「子どもの命を守る、切れ目のない支援を行っていきます」。



世界遺産の唐招提寺から薬師寺へと向かう一方通行の道路は、マンホールが多く設置され、大型の観光バスが通行するたびに揺れが発生し、近隣住宅や店舗の皆様からは対策の要望が寄せられていました。私はこれら地域の声を行政に届け、昨年度に道路の改修費用が予算化され工事が完了しました。今後も地域に居住する方々と世界遺産の観光に訪れる方々の調和とバランスを高次元で図れるよう、行政に訴えていきます。

西ノ京道路改修

住と観光の高次元のバランス求める



朱雀園二丁目集会所

バリアフリー改修が完了 土手改修工事は年度中に

危険性が高かったため、新年度の予算で改修工事をお願いしております。今年度中に工事が行われる予定です。



できません。食事などの持ち込みは原則不可で、今後売店を設置する予定です。火葬炉はペット用も含む12基。1日で約20件の火葬が可能です。

新斎苑オープン

1日約20件対応可 ペット用火葬炉も

奈良市の新斎苑(火葬場)「奈良市斎苑 旅立ちの杜」Ⅱ写真Ⅱが、新年度4月1日にオープンしました。施設内には、他の会葬者と顔を合わせることなく利用できるエントランスホールのほか、キ

大納言川改修

未施工部分の改修 今年度に工事着手

五条町の秋篠川と新池をつなぐ大納言川の川底は、約半分がコンクリート化されていますが、残り

半分については地域の方々と共に早期の改修を市に要望してきました。今年度、未施工部分の改修工事に着手されます。これまで、未施工部分は草木や汚泥などが川底に溜まりやすく、地域の方々清掃活動を頻りに行ってこられました。工事については、地域の景観や保全に十分留意するよう、引き続き要望していきます。

奈良市柏木町にある「朱雀園二丁目集会所」Ⅱ写真Ⅱは昨年度、利用するお年寄りや障害のある方に利用上のご不便をお掛けしないよう、バリアフリーの改修を要望し、このほど工事が完了しました。また集会所の裏にある土手Ⅱ写真Ⅱについては、地域の方々が行っている除草作業時の危



まちづくりに SDGsを

改選後の市議会9月定例会の予算決算委員会総務分科会で私は、新型コロナウイルスの感染拡大で1年策定が延期された「第5次総合計画」について質問し、国連の持続可能な開発目標のSDGsをどのように盛り込んだか、市の考えを聞きました。

総合計画は、市の将来像やまちづくりの方向性を決める最上位計画です。第5次総合計画は「『わたし』からはじめる『わたしたち』のまち 奈良」をスローガンに、今後10年間の道筋を描いています。

計画の中で私は、SDGsをどのように展開していくのかを問い、これらを積極的に市政運営に活かしながら、将来的にも人口が減少する中で「選ばれる奈良」となるよう、魅力的なまちづくりを求めました。

また、厳しい財政の再建とともに、市が保有している未利用の土地計103件(81万7020平方メートル)についても質問。このうち5000平方メートル以上は12件あり、七条地区に新築移転を市が計画しているクリーンセンターについては、コストの面からもこれら未利用地の活用を検討すべきだと指摘しました。

